

今年の明正の重要目標は、「国語力アップ」であります。繰り返し何度も言いますが、今の子どもたちにとって国語が苦手となる原因は、大きく二つあると思います。

まず一つは、「情報を得る方法が、ほとんど映像と音声中心になっている」という点です。テレビ、スマホ、タブレットから受動的に情報を得る時代となり、「自ら文字を読んで、情報を取りに行く力」、すなわち読解力が身に付きにくい環境となっているのでしょう。数学でも、単純な計算はできるのに文章題になると思考が停止し、何を聞かれ、何をしたらいいのか、「意味が分からない」という状態に。算数の問題で、「A君は5分で100メートル進み、B君は2分で50メートル進むならば、A君の方が速いといえますか、それともB君の方が速いといえますか」の問いに、「いえます」とだけ答える生徒が増えてきました。文章を読むにあたり、最後の「いえますか」だけとらえて、他は読めていないのでしょうか。

そして二つ目は、「様々な年代の大人と会話する機会が減った」という点です。大人の会話を聞いていると、意味の分からない言葉がたくさん出てきますが、前後から意味を推測しながら、話している内容を理解しようとします。以前は親戚の集まりなどで、大人がワイワイと話す機会が多くあり、子どもはその会話を黙って聞いていたものですが、今はその機会が減り、もし親戚が集まったとしても、大人は大人でワイワイと話し、子どもは子どもでスマホのゲームに興じている。これでは語彙力は身に付きませんね。

ちなみに最近の子は「嬉しい時も、悲しい時も、暑い時も、寒い時も、美味しい時も、不味い時も」どんな時もすべて「ヤバイ」と表現します。これってかなりヤバくないですか。いずれにせよ二つの原因にスマホが関係していますよね。東北大学の川島隆太教授が、『スマホが学力を破壊する』という本を出版しています。時代の流れは止められませんが、使用のルールは必要でしょう。例えば、一日スマホの充電を40%使ったら40分読書をするとか。勉強を一時間やったら、スマホを20分使用できるとか。とにかくスマホを持つ手から、本を持つ手に代わってほしいと願っています。

それから、中学三年生になりましたら、講座 NO.9『高校受験国語』の受講をお勧めします。文法の基礎知識から、文章を読み取るためのキーワードなどを、記述問題の練習を通して学んでいきます。4月から土曜日のPM5:15~6:45の時間帯で行います。読解力をつけたい生徒はもちろんのこと、国語をなんとなく解いていて点数に波がある生徒、特に、国語で点数が伸び悩んでいる生徒は、受講することをお勧めします。

## 連絡事項

### 英語検定

一次試験日 1月26日(日)

準2・4級 10時~、3・5級 13時30分~、2級 14時30分~

### 漢字検定

**締め切り 1月10日(金)**

試験日 2月16日(日)

10時、13時40分~

